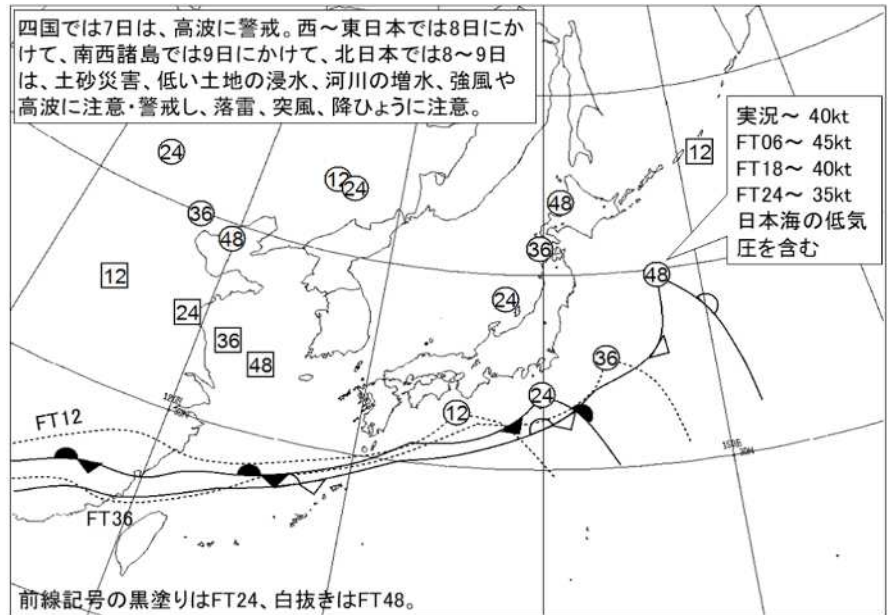


### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m付近のトラフに対応する低気圧が、前線を伴い日向灘付近を東北東進。前線近傍や暖域で発雷し、四国地方や南西諸島では激しい雨や非常に激しい雨が降っている。また、低気圧周辺では風が強まっており、四国沖では波高6mの大しけを観測。
- ② オホーツク海の高気圧の南側では吹走距離の長い東よりの風が吹いており、北～東日本太平洋側では引き続きうねりが伝搬して波の高い所がある。
- ③ 500hPa 5580m付近で-21℃以下の寒気を伴う寒冷渦が、中国東北区を東進。その南を回る500hPa 5700m付近のトラフに対応する衛星水蒸気画像の暗域がボツ海～黄海を東進。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、本州の南岸を東北東進し、8日中には伊豆諸島付近を通って日本の東に進む。低気圧からのびる前線は、その後9日にかけて日本の南～南西諸島付近に停滞する。前線と低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。また、低気圧や前線の影響で、強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなり大しけとなる所がある。四国では7日は高波に警戒。西～東日本では8日にかけて、南西諸島では9日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、高波に注意・警戒し、強風、落雷や突風に注意。
- ② 1項③の寒冷渦は、9日にかけて北海道付近に進み、対応する低気圧が8日朝までに日本海中部に発生して北上し、9日は寒冷渦の直下に入って北海道地方に進む。2項①の低気圧は8日は上層トラフが先行して最大風速を落とすが、9日は1項③のトラフと対応して再発達しながら北上し、夜には寒冷渦の直下に入って北海道付近の低気圧と一体化しながら千島近海に進む。上空寒気と日本海を北上して北海道地方に進む低気圧に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり激しい雨が降って大雨となる所がある。特に、低気圧に向かう東よりの風が強制的に上昇する北海道の東～南東側に開けた山沿いを中心に総降水量が多くなる。北海道地方では8～9日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。また、低気圧や前線の周辺では強い風が吹き、波が高くなる所がある。北日本では8～9日は、強風に注意・警戒し、高波に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考とする。2項①②の低気圧の位置や発達程度は不確実性がある。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(06時からの24時間)：関東甲信180、北海道・東海・近畿100mm。
- ② 波浪(明日まで)：四国6、伊豆諸島・東海・近畿5、関東4、その他広い範囲で3m。

**5. 全般気象解説情報発表の有無** 発表の予定はない。